

# 政策調整会議の概要

開催日 平成26年12月4日(木)

## ◎項目

- 1 高知県の経済概況について【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】
- 3 その他

## ◎内容

### 1 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 10月の新車販売台数は8月、9月より減少幅は縮小しているが、4ヶ月連続のマイナスで1,996台となっている。普通車も軽自動車も4ヶ月連続のマイナスとなっている。
- ・ 10月の新設住宅着工戸数は、消費税増税の駆け込み需要で昨年の10月分が伸びていたこともあり、持ち家、貸し家、分譲住宅とも減少し、2ヶ月ぶりのマイナスとなっている。
- ・ 10月の有効求人数は1万2,987人で前年同月比1.5%の減少となり、61ヶ月ぶりにマイナスとなっている。新規求人数は2ヶ月ぶりにマイナスとなった。産業別では、医療・福祉などがプラスとなったが、建設業や宿泊業、飲食サービス業、運輸業、郵便業などでマイナスとなっている。
- ・ 10月の有効求人倍率は0.84倍で、0.01ポイント下降した。対前年同月で言えば0.08ポイント上回っている。全国は1.1倍で、0.01ポイント上昇となっている。

### 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(健康政策部)

11月21日にエボラ出血熱の患者の対応訓練を行った。訓練は高知市保健所と高知医療センターで行い、患者への連絡や搬送、院内受け付けを行った。四国では高知県と徳島県でしかエボラ出血熱の入院対応ができないということで、愛媛県と香川県の職員も来て訓練を行い、約100人が参加した。

現在、高知医療センターではエボラ出血熱の対応ができる病床が2床しかないため、3人以上患者が出た時の体制や防護服の脱着訓練などを行い、エボラ出血熱に備えていきたいと考えている。

(文化生活部)

「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を平成 27 年 2 月に行う予定である。夏は「まんが甲子園」、冬はこの「漫画家大会議」というように、このイベントが浸透していくようにしたいと考えている。

この関係で庁内にポスターやチラシなども貼っているが、中身は盛りだくさんの内容になっており、例えば食の漫画を書いている漫画家さんと一緒に高知の食材を使っているような創作レシピを考えるなど、いろいろなメニューがある。そのチケット販売が 12 月 7 日から始まるので、また、ご協力をよろしくお願ひしたい。

(観光振興部)

外国人観光客について、1 月から 9 月の実績で見ると、去年が 1 万 3,400 人泊だったのが、今年は 1 万 9,310 人泊ということで、昨年比では 44% 増と大幅に伸びている。全国平均が 29% なので、大きな伸びになっているのかなと考えている。去年 1 年間で 2 万 830 人泊だったので、今年はさらに増えるのではないかと期待している。大きく伸びているのが台湾で約 83% の増、それから香港が 3 倍近くになっている。中国も 60% 以上の伸びとなっている。毎年下半期の方が伸びる傾向があるので、外国人観光客の増加に期待をしている。

### 3 その他（職員の健康管理等について）

(副知事)

1 点目は職員の健康管理について、12 月に入り、予算や議会对応など年末に向けて大変忙しい時期になってくるが、体調を崩している職員もいると聞いている。こうした時期だからこそ職員の健康管理に十分留意をしていただきたいと思います。また、年末年始の休みについて、極力職員がすべて休めるようにリードしていただきたい。

関連して、平成 24 年 4 月に出した「活力のある職場づくりと公務能率等の向上について」という通知の中で、再確認となるが自らの思いとして 3 点記載している。

まず、1 つ目は職員への指示を明確化していただきたいということ、2 つ目は勤務時間外の会議や知事協議についてはできるだけ課長補佐以上の対応とすることや、人を絞って対応していただきたいということ、3 つ目は職員が土・日に勤務する場合、できるだけ週休日の振替を行っていただきたいということ、である。

併せて、予算編成方針でも触れているが、来年度の予算に向けて、新たな仕事が積み上がっていくだけでなく、スクラップもしなければならない。場合によっては、仕事のやり方を変えていかないと対応できない。そういった、見直すべきところはしっかりと管理職の皆さんが目を配って見直していただきたい。

2 点目は、職員とのコミュニケーションについて、現在、各所属では人事のヒアリングを行っている時期だと思うが、しっかり時間を取っていただき、職員の意見を引き出していただきたい。職員の考え方や家庭環境などをしっかりと把握していただくことで、その職員を指導していく場合や、いろいろな指示をする場合、それから人事の配置でも役立つと思うので、しっかりとコミュニケーションを取っていただきたい。

この 2 点を基本に、ぜひ管理職の皆さんが各部局でご自分の思いを持って、職員の健康管理、仕事のやり方に十分気をつけて、業務を行っていただきたい。